

拠出金名： 日・カリブ友好協力基金拠出金

国際機関等名	日・カリブ友好協力基金 (略称)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当課名	外務省中南米局カリブ室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	11,346	93		1\$ = 122円	(2002年) 100	100
平成13年度	10,700	100		1\$ = 107円	(2001年) 100	100
平成12年度					(2000年)	
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	日本		100			
2位						
3位						
4位						
5位						
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
カリコム加盟各国の要請をとりまとめた上でカリコムが我が国政府に対して、事業承認要請を行う。右要請を受けて、日本政府として各事業の承認・不承認を決定した上で、日カリブ友好協力基金への拠出を行う。事業実施後には、カリコムは日本政府に報告する。右プロセスを経ることで、我が国の意見が全面的に反映される等本基金の運用・管理については極めて高い適格性が確保されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
カリコム事務局の機能強化はかねてからの懸案事項であった。カリコム事務局本部は、現在、ガイアナのジョージタウン市内の5カ所に分散しているが、建設中の新しい本部ビルの1カ所に今後集約される。カリコム設立30周年を迎えた本年7月のカリコム首脳会議にて、カリコム事務局の機構改革が審議され、事務局長やその他の幹部ポストの機能強化・効率化が検討されている。その他各種措置を含めこうした抜本的な組織改革が実施されれば、カリコム事務局の機能強化・効率化が期待される。						
邦人職員数 うち幹部以上	1 人(注2) うち 0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		250人 0.004%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
なし						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。

(注2) この邦人職員は、本基金の事務局であるカリコム事務局にJICA専門家として派遣されている職員。本基金の運用について様々な形で協力を仰いでいる。